



なっちゅう なう

長与中 Now

長与町立長与中学校
校長 田中 真
副校長 大串 久隆 (編集)

長与の町を彩る桜が例年にも増して美しく咲き誇る中、令和2年度の始業式を迎えました。13名の職員が入替わり、新しい顔ぶれで新年度準備を進めてまいりました。今年度も、学校・家庭・地域の連携のもと「豊かな知性や人間性を身に付け、たくましく自分の人生を切り拓いていく生徒を育てる」ために、職員一丸となって、尽力してまいりたいと思います。

着任式・始業式

本年度の着任式・始業式は、新型コロナウイルス対策のために、校内放送を利用して行いました。着任式では、着任した職員が、自己紹介を録画しておき、それを再生する形で、職員紹介を行いました。歓迎の言葉は、生徒を代表して、浅海くんが校内放送で伝えてくれました。



放送を聞く学級の様子



歓迎挨拶の浅海くん

その後、続いて、始業式も校内放送で行いました。ここでは、校長の始業式での言葉を紹介します。



放送を聞く職員室の様子

おはようございます。そして、進級おめでとうございます。突然の臨時休業から約1か月、この間、不安や寂しさ、焦りや苛立ち等、様々な思いに駆られたことと思います。皆さんにとって待ちに待った学校の再開を、今日迎えることができたことを、共に喜びたいと思います。学校での勉強や部活動、仲間との会話等、今まで当たり前と思っていたことが、どれほど大切なことであったか再認識する良い機会になったものと思います。

しかし、新型コロナウイルスの感染は、終息の気配が見えず、未だに拡大を繰り返しています。地域によっては、新学期の敷めが5月の連休明けに延期されたところも多くあります。長崎県では今日から新学期をスタートできましたが、再び臨時休業になる危険性があることは皆さんも理解してほしいと思います。

今、皆さんの安全と健康を守るとともに、感染の拡大を防止するため、学校やPTA、長与町の様々な行事の縮小や中止が決定されています。そうした取組も、皆さん一人一人の自覚と実践がなければ、実現できるものではありません。長与町内の感染拡大を防ぐとともに、皆さんが継続して学校生活や部活動に取り組みできるように、自分たち同士で注意し合い、生活してほしいと思います。

詳しい注意事項については、担任の先生や部活動顧問の先生から話がありますが、大きな柱として、換気の悪い密閉空間、人の密集、間近で会話や発声をする密接場面の「いわゆる三密」を避けることを守って下さい。特に最後の、近い距離で対面での会話をしないこと、大きい声を出さないことは難しいことかもしれませんが、自分を感染しない、人を感染させないことが強く求められます。万が一、感染者が発生したときにどのようなことが起こるのか、学校がどうなるのか、一人一人が真剣に考え、その事実を重く受け止めて行動して下さい。長与中学校から誰一人として感染者を出さないように、全員でがんばりましょう。

さて、新年度の始まりに際し、皆さんに心掛けてほしいことや願いを話したいと思います。高浜直子という人の俳句に「春風や 闘志にきて 丘に立つ」というものがあります。「闘志」とは「戦おうとする意志・意気込み」ということです。新年度になって、新たな学年・新たな事柄に立ち向かう「やる気と希望」に満ちあられる今の皆さんの心境、そのものではないでしょうか。今の気持ちを忘れず、卒業した先輩たちと築いた長与中学校の良き伝統を守りながら、新入生と共に長与中学校の新たな歴史を作ってください。

今、新入生といいましたが、明日から1年生が入学してきます。残念ながら、新型コロナウイルス感染防止のため、在校生は勿論、保護者の方の出席もなく入学式を行わざるを得ません。声をかけてくれる先輩がいたら、励ましてくれる保護者もあらず、1年生の不安や心遣いは想像以上に大きいものと思います。また、小学校と違って、わからないことや悩むこともあると思います。皆さんが先輩から相談のってもらったり、励ましてもらったりに加えて、1年生に優しく接し、助けてほしいと思います。さらに、今年から特別支援学級が3学級になります。特別支援学級とはいいますが、人としての輝きは皆さんと何ら変わるところはありません。少しだけ、手助けや理解が必要だけです。皆さんの支援と思いやり、他者を尊重する心で期待します。今年も「全力長与、感動長与」をスローガンに、全員が元気に安心して生活できる長与中学校を作っていきます。そして、今年1年間が皆さん一人ひとりの青春の輝ける1ページとなることを願ひ、新学期にあたっての挨拶とします。

入学式

4月7日(火)に、入学式が行われました。今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染防止のために、新入生のみの参加となりました。午前中に、在校生で、会場設営と学校内外の清掃、教室の整備と飾り付けを行い、「新入生を心から歓迎しよう」という思いを込めて準備を行いました。30分ぐらいの入学式、そして、20分ぐらいの学級での学級担任との会話。短い時間でしたが、新入生は、しっかりと背筋を伸ばし、一言一句をしっかりと受け止め、真剣に話を聞いていました。ここでは、校長の式辞を紹介し、入学式の様子



校庭に咲く満開の桜に春の訪れを感じる、この佳き日に、長与中学校に入学した197名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染防止のため、保護者や来賓の皆さんの出席を制限せざるを得ず、寂しい入学式となりましたが、長与中学校は皆さんの入学を心から歓迎します。

これから中学校生活のスタートをきる皆さんに、目標として実行してほしいことを三つ話します。

一つめは、「自分のことは自分で決めて行動できるように」ことです。

やがて皆さんは、長与中学校を巣立ち、変化の激しい現代社会を一人で生き抜いていかなければならなくなります。皆さんが生きていく上では、「何が正しいのか、何が自分に合っているのか、目標を達成するにはどうすべきか」など、様々な判断や選択を迫られます。その時に正しく自分の進むべき道を決定する力、つまり「自己決定力」を中学校で養う必要があります。中学校の生活のいろいろな場面で自分はどう行動すべきか、何が駄目だ、何をしなければいけないのか、自分で判断し、自らの言動に責任が持てる中学生になってください。

二つめは、「夢を持って何事にも挑戦し、ねばり強く努力する」ことです。

NHKの連続ドラマ「あさが来た」の主人公のモデルとなった広岡浅子さんという人がいます。広岡さんは、炭鉱の経営、銀行や企業、そして日本女子大学を設立した人です。その広岡さんが、夢を実現するにあたって、「何でも初めから無理と思ったら、結果もそのようになります。無理でも目的を立てて、どうしたら完遂できるか、焦点を絞っていくことが大切です。」と述べています。「夢」を持った時、「無理」と考えるか、「やろう」と考えるかで、次に踏み出す一歩が変わります。「無理」と考えて歩き出さなければ、夢を実現することは決してありません。しかし、「やろう」と考えて取組や努力を重ねれば、夢を実現する可能性は高くなります。ぜひ、この長与中学校で「夢」を実現するための強い意志と力をつけてください。

三つめは、「心のこもったあいさつができる」ことです。

あいさつは、人と人をつなぐ第一歩です。互いの人格を認め合い、信頼を築く第一歩といってもいいでしょう。また、長与中学校の生徒スローガンは「あいさつ、校歌、反応、日本一」です。「いつでも、どこでも、誰にでも、明るく日本一のあいさつができる」ようになってください。

皆さんが「幸せな、充実した人生」を送るための基礎・基本が身に付けられるよう、長与中学校は「豊かな知性や人間性を身に付け、たくましく自分の人生を切り拓いていく生徒の育成」を教育目標としています。また、「全力長与、感動長与」の合い言葉のもと、本校生徒のあるべき姿を求め、全員で日々切磋琢磨を繰り返しています。皆さんが多くを学び、豊かに成長するための場と機会がこの長与中学校にはあります。今日から共に励んでいきましょう。新入生の皆さんのより良い成長を祈念し、式辞といたします。



手を消毒して教室へ向かう新入生



入学式後の学級会の様子

